

軟式庭球協会

沿 革

当町の軟式庭球協会の歴史は古い。もと幕別市街を止若とっていた昭和25年6月、止若在住の同好者によって止若庭球協会を組織した。役員には、新田ベニヤ工場の半井勇三が会長、笹原商産の笹原登、新田ベニヤ工場の篠田正男が副会長に就任し、軟式庭球協会が組織されたのが初めての記録である。

昔を逆のぼれば、昭和の初期に時代の先端をいっていた合資会社新田ベニヤ製造所の社員により幕別町で初めて当工場のテニスコートが造成されたのに伴い軟式庭球が導入されました。幕別町のテニスの発祥は新田ベニヤであった。

終戦後、軟式庭球は増々普及し、一般町民までテニス愛好するようになり、各種大会に選手を送るようになり、一躍十勝に幕別町の名が知られるようになりました。

協会を組織する前の昭和24年から昭和26年の3年間にわたり、半井勇三、中村 実、篠田正男、笹原 登、芝木 繁、藤島 実、品田 信、竹内幸男、鳥海八郎、白川 醇らによって全十勝町村大会で連続して優勝をさらったことは今でも記録されている。

また、中村 実、藤島 実、北原 隆、芝木 繁、石橋次雄、牛尾 毅、芝木勝幸らによって昭和29年から昭和31年までの3年間、再度、全十勝町村大会で連続優勝したほか、芝木勝幸が全道大会で優勝し、芝木裕之が昭和39年から国体へ7回出場、全日本大会で3位、また国体では北海道チームの監督として出場し、全道的に幕別町のテニスは有名になりました。

過去、個人的に優秀な選手を送りだしたが、その後停滞をきたし、昭和46年には、牛尾 毅、有沢隆則、末吉康弘、稲毛一郎、宇佐見忠士、逢坂幸次、宮本 彰、稲毛哲朗、佐古啓二、横川清、奥田 仁ら元幕別中学校でプレーしていた先輩、後輩らが中心になり、幕別町軟式庭球同好会を発足した。練習は、各会員にとって思い出の多い新田ベニヤテニスコートを借りて行った。

その後、中学生、高校生、また初心者のテニス人口の増加に伴い、新田ベニヤコートの整備として町の助成もあり、また新田ベニヤの多大なる協力を得、フェンスの改築やコートの拡幅などがなされ、現在町民のコートとして解放していただいている。

新田ベニヤのコートが町民に解放されているなか、待望の町営コートが4面（当初2面、後に2面増設）造成された。それぞれ有効に利用しているが、整備されたコートにより道民スポーツ大会十勝大会で、昭和48年に準優勝、昭和51年、52年には連続して3位の成績をあげることができました。

全十勝町村大会は長い間中断されていたが、幕別町運動公園内にテニスコートが造成されたのを機会に、昭和52年、当同好会が各町村に呼びかけて、第1回大会を幕別町に於いて開催した。その後、各町村が会場を持ち廻り、ますます盛大になり今年7月には、再び当町に於いて第11回大会を開催している。

また社会教育の一環として、昭和53年に幕別地区ママさんテニス教室を、昭和54年には札内地区ママさんテニス教室を開催している。

尚、昭和46年より同好会として活動してきたが、同好会は親睦団体のため一般の愛好者の方がなじめないということから、昭和54年度総会で幕別町軟式庭球協会と名称を改め、会長にはこれまで同好会長であった芝木勝幸が就任した。他に協会の発足に尽力したメンバーは、牛尾 毅、有沢隆則、松村博義、末吉康弘、稲毛一郎、宇佐見忠士、逢坂幸次、宮本 彰、横川 清、奥田仁、深松 卓、印銀道広らであった。

現 況

8年間続いた同好会を昭和54年4月より幕別町軟式庭球協会とあらためた。このことにより、より多くのテニス愛好者が気軽に参加できるように願ってのことであった。昭和54年、札内地区に於いてママさんテニス教室を開催、当協会より3名が指導にあたったが、参加者より当教室終了後も、何らかの形でテニスを続けたいとの強い要望があり、すぐに札内ママさんチームを結成し、その後メンバーの入れかえはあるが、毎週1回、札内中学校体育館を借りて練習に励んでいる。指導には、テニス教室指導者の1人であった松村博義が今日まであたっている。

最近最大の事業は第11回十勝町村大会の開催である。第一回大会に比べると参加町村、参加者ともグンと増えており男子は町営コート、女子は幕別高校テニスコートをお借りして実施しました。準備から当日の運営一切を当協会が担当し、なにかと苦労もありましたが、より一層団結できる協会にもなりました。(前日よりの激しい雨で開催が心配されましたが、早朝より当協会員総出で、水はき、砂入れ等を懸命に行いどうにか試合のできる状態にもっていきました。)

尚当大会で女子は惜しくも予選リーグで敗退したが、男子の方は予選リーグを通過し、決勝トーナメントに進出し、第3位の成績を収めました。

上記全十勝町村大会の他、各種大会の開催及び参加も数多く行っている。大会開催は、春秋の全町大会、芝木杯、全十勝から優秀な選手を集めて行う全十勝インドア大会、さらに冬期間の全町インドア大会(これまで年1回の開催であったが今年は3回を予定)等であり、他に道民スポーツ大会にも毎年参加し優秀な成績を収めている。

今年の各大会の上位入賞者は下記のとおりである。

春季全町大会(コート開き)

〈男子〉優勝	千葉敦彦・宮本慶一郎組	〈女子〉優勝	村尾桂子・木幡英美子組
準優勝	奥田 仁・山口俊一組	準優勝	菊野あゆみ・吉田洋子組
3 位	末吉康弘・芝木勝幸組	3 位	佐藤富士子・関戸真知子組
3 位	有沢慶教・辻 秀雄組	3 位	中野智子・吉尾美和子組

第2回芝木杯

〈男子〉優勝	千葉敦彦・辻 秀雄組	〈女子〉優勝	村尾桂子・木幡英美子組
準優勝	宮本 彰・小林喜己組	準優勝	菊地・菅原組(幕別高校)
3 位	有沢慶教・有沢隆則組	3 位	渡辺明美・山本美代子組

秋季全町大会（コート納め）

〈男子〉優勝 奥田 仁・松村博義組
準優勝 有沢慶教・有沢隆則組
3 位 宇佐見忠士・辻 秀雄組

〈女子〉優勝 村尾桂子・木幡英美子組
準優勝 佐藤富士子・林みどり組
3 位 中野智子・山田留理子組
3 位 渡辺明美・山本美代子組

全町インドア大会

〈男子〉優勝 中尾・橋本組（幕別高校）
準優勝 細谷地・真鍋組（幕別高校）
3 位 末吉康弘・宮本慶一郎組

〈女子〉優勝 渡辺明美・山田留理子組
準優勝 村尾桂子・増谷玲子組
3 位 中野智子・斉藤りつ子組

現在の協会役員は

会長 末吉康弘、理事長 千葉敦彦、理事 鯨岡明子・村尾桂子、事務局長 川田 豊、
事務局 菊野あゆみ・吉田洋子、会計長 松田孝志、会計 松田昌子（幕別）・中野智子（札内）、
監査 逢坂幸次となっている。

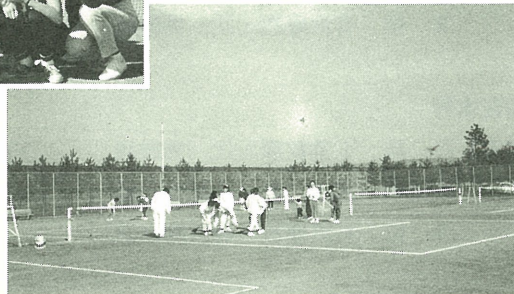
展 望

当協会は、初心者テニス教室、ママさんテニス教室、中学生の指導をこれからも重点的に進めていく方針である。札内地区は住民が増えつつあり、それにつれてテニス人口も徐々に増えてきているが、一般人の使用できるテニスコートが不足しており、大会等も開催できず残念である。

これから更に充実した協会になるよう努力し、またテニス人口がますます増えることを会員一同は願っています。



女子チームの皆さん



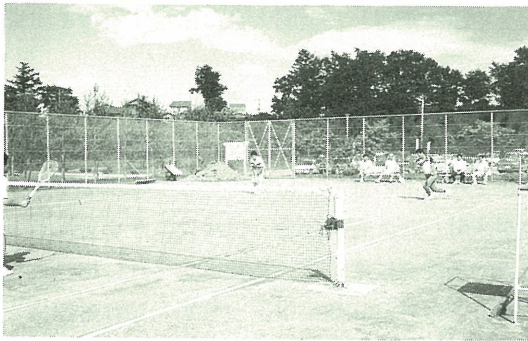
会員皆んなでコートの整理



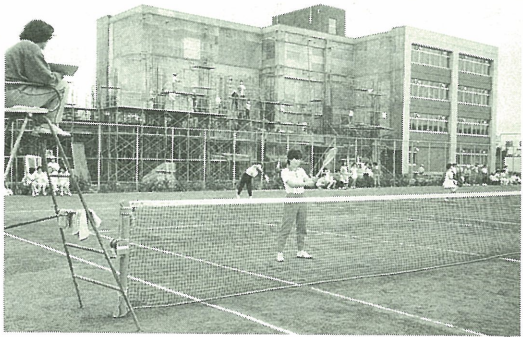
町村大会開会式風景



町村大会開会式風景



町村大会試合風景



町村大会試合風景



秋期全町大会（コート納め）男・女優勝ペア



秋期全町大会（コート納め）女子入賞者